

七、移転建築願

- ・移転建築に際しては、おちばを向いて札拝出来るよう神床の位置を充分考慮すること。
- ・移転先において新築、増築、改築等をする場合は、すべて「移転建築願」となる。
- ・所在地番が同一であっても境内地外の場合は「移転建築」となる。
- ・所在地番が異なっても同一境内地内である場合（境内地拡張の場合は出願前に登記完了のこと）は「移転建築」にならない。
- 「神殿建築願」となる

〔本願〕

- ・移転地の建物に住居表示が実施されている場合は、証明する公文書を添付して、その住所で願い出ること。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。

移転建築願には

①さら地に新築する場合

②移転地の既設建物を取毀ち、その跡地に新築する場合

③移転地の既設建物を改築又は増築する場合があるが、

①の場合は、建築する建物の構造、用途、床面積のみを記入、

②③の場合は

イ、既設建物

ロ、取毀する建物

ハ、増築する建物

ニ、完成後の建物

の順に構造、用途、床面積を列記すること。

- ・移転建築費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。

〔請書〕

・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。

・既設建物に増築や取毀、屋根葺替などをし構造や床面積に変更が生じる場合は、必ず表題変更登記をすること。

〔臨時祭典願〕

・移転先の所在地で願い出ること。

・改称を伴う場合は改称名で願い出て、当該教会長押印は教会長個人の実印を用いる。

- ・無断で御鎮座したときには実際にお鎮めした日を記入し、奉告祭は理のお許しを戴いて後あらためてつとめること。
- ・同時に御目標奉祀、再奉祀を願い出る場合は「臨時祭典願」に代えて「鎮座祭日並奉告祭日御許願」とする。
- ・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。
- ・奉告祭は恒例祭日・霊祭日以外の日につとめること。
- ・鎮座祭は恒例祭日と同日であつてもよい。但し恒例祭がおろそかにならないように注意すること。

〔添付書類〕

①境内地内建物の「平面図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・原則として縮尺¹⁰⁰分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。
- ・既設の建物があるときは新築分と区別して、新築分は朱線で示す。

②境内地内建物の「配置図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・縮尺²⁵⁰分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

③境内地内建物の「付近見取図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・交通機関も含めた詳細なものとする。

④「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。

⑤「系統位置表」

- ・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

移転建築願	
所在地（墨書）〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
移転地（朱書）〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七	
天理教 〇〇 ふりがな 分教会	
右教会を朱書の地に建築の上移転いたしたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教 〇〇 分教会長	
天	天理教
天理教 〇 〇 〇 〇 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転建築項目書	
一、移転建築の理由及び計画	
別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積	
〇〇 〇〇〇、〇〇平方メートル	
（一筆毎連記）	
三、境内建物	
〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 塙棟	
床面積 〇〇、〇〇平方メートル	
〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 塙棟	
天	天理教
床面積 塙階 〇〇、〇〇平方メートル	
式階 〇〇、〇〇平方メートル	
四、移転建築の着工及び竣工予定日	
着工予定日	年 月 日
竣工予定日	年 月 日
五、従来の土地建物の処分	
六、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	
〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七拾八	

請書	
所在地　〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七	
一、建物	
〇〇造〇〇葺　平家建　神殿　　桧棟	
床面積　　〇〇、〇〇平方メートル	
〇〇造〇〇葺　式階建　教職舎　　桧棟	
床面積　　桧階　〇〇、〇〇平方メートル	
式階　〇〇、〇〇平方メートル	
右建物は当教会のよふべく信者の喜納金により建築いたす建物でございますので建物竣工のうへは表題登	
天	天理教
記並びに当教会の基本財産として所有権の保存登記することをお願いいたします	
立教　　年　　月　　日	
役員　　〇　〇　〇　〇　印	
役員　　〇　〇　〇　〇　印	
天理教　〇〇　分教会長	
〇　〇　〇　〇　職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）　　職印	
真柱　中山善司　殿	

臨時祭典願	
所在地　〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七	
天理教 ふりがな 〇〇　分教会	
一、鎮座祭　立教　　年　　月　　日	
一、奉告祭　立教　　年　　月　　日	
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教　　年　　月　　日	
役員　　〇　〇　〇　〇　印	
役員　　〇　〇　〇　〇　印	
天	天理教
天理教　〇〇　分教会長	
〇　〇　〇　〇　職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）　　職印	
真柱　中山善司　殿	